

「しあわせ倍增プラン2009」施策一覧

宣言・分野	No.	項 目	頁
行動宣言 (5)	I-1	マニフェスト検証大会を毎年開催。(4年以内)	9
	I-2	タウンミーティングを全10区で計40回開催。(4年以内)	10
	I-3	現場訪問を400回実施。(4年以内)	11
	I-4	学校訪問を全校実施。(4年以内)	12
	I-5	職員との車座集会を100回開催。(4年以内)	13
条例宣言 (7)	II-1	市長任期を3期までとする、多選自粛条例を制定します。(すぐ)	14
	II-2	生涯スポーツを推進し、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進する「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」を制定します。(すぐ)	15
	II-3	障がい者も健体者も共に地域で暮らせるノーマライゼーション条例を制定します。(すぐ)	16
	II-4	一人ひとりの子どもが輝くために「子ども総合条例」を制定します。(2年以内)	17
	II-5	「文化都市創造条例」を制定します。(2年以内)	18
	II-6	さいたま市の憲法「自治基本条例」を市民参画で制定します。(3年以内)	19
	II-7	他市に類をみないスピードで進む高齢化に備えて「安心長生き条例」を制定します。(4年以内)	20
行財政改革 (13)	1	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。(すぐ)	23
	2	すべての窓口業務を区役所で行えるようにします。(すぐ)	28
	3	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。(すぐ)	33
	4	市長の退職手当を50%減額します。(すぐ)	34
	5	市長給与を10%減額します。(すぐ)	35
	6	指定管理者の指定などにおける透明性を確保します。(すぐ)	36
	7	一職員一改革提案制度を創設します。(すぐ)	37
	8	政令指定都市初の予算編成過程の透明化も含め、徹底的な情報公開を行います。(すぐ)	38
	9	情報公開日本一を実現します。(2年以内)	40
	10	外郭団体の長への市長・副市長の兼職を廃止します。(2年以内)	46
	11	職員の自動的な天下りを廃止します。(2年以内)	47
	12	行政職への民間人登用を含め、実力ある人を適材適所に配置します。(2年以内)	48
	13	電子市役所を構築します。(4年以内)	51
市民・自治 (3)	14	区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。(すぐ)	55
	15	市民活動を推進するための「マッチングファンド制度」を創設します。(2年以内)	56
	16	大学コンソーシアムの仕組みを構築します。(4年以内)	57
子ども (14)	17	子どもの好奇心を伸ばすために、プロのスポーツ選手やアーティストなどによる授業を拡大します。(すぐ)	61
	18	基礎学力向上のための「読み・書き・そろばんプロジェクト」、基礎体力向上のための「なわとび・逆上がりプロジェクト」、生活習慣向上のための「あいさつ・礼儀」・「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。(2年以内)	62
	19	「放課後子ども教室」を増殖します。(2年以内)	66
	20	児童虐待ゼロを目指し、対応する職員(保健師、児童相談所員など)を増員します。(2年以内)	67
	21	家庭・地域・学校が連携して取り組む「土曜日寺子屋」を実施します。(4年以内)	69
	22	子どもの創造力を高める「子ども博物館構想」を推進します。(4年以内)	70
	23	「子育てパパ応援プロジェクト」を推進します。(4年以内)	71
	24	保育所・学童保育所「待機児童ゼロプロジェクト」を推進します。(4年以内)	75
	25	北九州方式を参考とした小児救急体制や、産科救急体制を整備します。(4年以内)	78
	26	高校教育の底上げを図り、質の高い特色のある学校づくりを推進します。(4年以内)	80

宣言・分野	No.	項 目	頁
子ども (14)	27	一人ひとりの子どもが輝くために、心のサポート推進事業を充実します。(4年以内)	81
	28	ノーマライゼーションの理念の共有化に向け、障害のある人もない人も、誰もが同じように住み慣れた地域で暮らし学べるよう、特別支援教育を充実します。(4年以内)	82
	29	学校教育における食育を推進します。(4年以内)	83
	30	メディアリテラシー教育の充実と携帯・ネットアドバイザー制度を創設します。(4年以内)	84
高齢者 (6)	31	介護する人への支援体制を充実します。(すぐ)	87
	32	配食サービスの拡充を図り高齢者の自立を支援します。(すぐ)	88
	33	空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。(4年以内)	89
	34	シルバー人材センターの充実や団塊の世代の市民活動の推進など、高齢者が地域で働く場を増やします。(4年以内)	91
	35	シニアユニバーシティを充実します。(4年以内)	92
	36	高齢者を対象とした、(仮称)シルバー元気応援ショップ制度(割引制度)を創設します。(4年以内)	93
健康 ・安全・安心 (5)	37	食生活や運動習慣の改善を支援し、健康寿命の延伸を目指します。～元気倍増大作戦～(4年以内)	97
	38	遊休地などを活用した、スポーツもできる多目的広場を倍増します。(4年以内)	99
	39	万全な危機管理体制を構築します。(4年以内)	106
	40	民間住宅の耐震化補助事業を拡充します。(すぐ)	113
	41	障害者自立支援法の時限措置終了後も、市独自の負担軽減策を継続します。(すぐ)	114
環境 ・まちづくり (11)	42	市内照明のLED化率全国1位を目指します。(4年以内)	117
	43	太陽光発電設備の設置を推進します。(4年以内)	118
	44	「E-KIZUNA Project」などの実施により、次世代自動車の普及を促進します。(4年以内)	119
	45	さいたま新都心のサッカープラザ計画は白紙撤回します。(すぐ)	120
	46	コミュニティバス路線の検討委員会を設置します。(すぐ)	121
	47	新規建設事業費の1%を魅力ある文化・芸術のまちづくりに配分します。(3年以内)	122
	48	公園・市有地・校庭などの芝生化、緑のカーテン事業などで身近な緑を増やす「みどり倍増プロジェクト」を実施します。(4年以内)	123
	49	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。(4年以内)	132
	50	良好な住環境を守るための「高度地区」による高さ制限を導入します。(4年以内)	139
	51	下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。(4年以内)	140
経済・雇用 (7)	52	効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路を抜本的に見直します。(4年以内)	143
	53	ワーキングプアを増やさない、部局横断的な「自立生活支援対策チーム」を設置します。(すぐ)	147
	54	介護、福祉、医療、教育、環境、農業などの分野を中心に「雇用倍増プロジェクト」を実行します。(4年以内)	150
	55	市内の観光資源を有効に活用し、海外も含め観光客を積極的に誘致します。(4年以内)	162
	56	起業家応援のための「ベンチャービジネス倍増プロジェクト」を実行します。(4年以内)	163
	57	コミュニティビジネスの支援制度を充実します。(4年以内)	165
	58	中小企業・小規模事業者への融資制度を充実します。(4年以内)	167
地域間対立を 越えて (3)	59	企業のCSR活動の認証制度を創設・推進します。(4年以内)	168
	60	大宮駅東口再開発は、東日本の玄関口としての機能を高める開発を推進します。(4年以内)	171
	61	地下鉄7号線延伸は、経済性などを十分に考慮し、まちづくりと連動させて推進します。(4年以内)	172
	62	市庁舎のあり方は、地域的対立を越えた視点から、市民の声を聞きながら検討します。(4年以内)	173